

# 今昔

# 物語

今と昔を結ぶ、  
ギターと声のひびき

[プログラム]

鏡の中の鏡 アルヴォ・ペルト  
グレゴリオ聖歌

ふるさと 作曲：岡野貞一 作詞：高野辰之  
ギターとアルトのための『祈り』 西下晃太郎  
ヒルデガルトの巡礼(仮題) 西下晃太郎  
ギターと声の即興 他

## 沓沢ひとみ (メゾソプラノ・アルト)

秋田県出身。山形大学教育学部特設音楽科声楽専攻卒業。その後、佐々木正利教授に師事。全日本コンクール奨励賞、ベルカント声楽コンクール入賞。スイスのチューリッヒ芸術大学に留学。カトリック女史に師事し、コンサーティスト(演奏家)ディプロマを取得して卒業。その後、アナレイノルズ女史に師事。ソリストとして中世ルネサンスからJ.S.Bach(ヘルムート リリング指揮)、現代曲にわたってコンサートやCD録音等、国内外で幅広い活動を行っている。初のソロCD "スペイン歌曲"はスイス国営ラジオクラシック部門でプレゼンテーションされた。2枚目のCD "郷愁 日本の歌"はアルガウクラトウリウムから賞を得て、スイスクワントフォンから発売。西下晃太郎作曲の「祈り」の初演を歌い、一緒に音楽活動をスイスや日本で行い好評を得ている。現在、スイスのチューリッヒ在住。チューリッヒ市立コンセルヴァトワール声楽科で教鞭をとっている。

## 西下晃太郎 (クラシックギタリスト・作曲家)

1985年生まれ。ワイカト大学音楽院(ニュージーランド)ギター科を卒業後、渡欧しチューリッヒ総合芸術大学(スイス)の修士課程にて研鑽を積む。これまでにJames Tennant、佐々木忠、Anders Miolinに師事。作曲はSergio Assad、Carlo Domeniconi各氏より助言を受ける。民族音楽や宗教音楽の中にある祈りの精神性に感銘を受けたことが自身の作風に影響を与える。リルバーン学生作曲コンクール(ニュージーランド)にて優秀賞ならびに演奏賞を受賞。Hamilton音楽祭(ニュージーランド)、Universeller Gottesdienst(スイス)、福島復興支援コンサート等に出演。2017年までチューリッヒを拠点に音楽活動を行う。2018年より拠点を日本へ移し、自身の作品集を製作中。

月光堂楽器店にて、西下先生のレッスンを受講出来ます。

2019年2月14日(木)

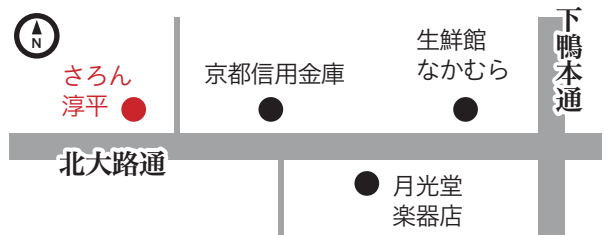
開場 18:00 開演 18:30

18時まで喫茶をご利用いただけます

[会場] 喫茶ギャラリー さろん淳平

京都市左京区下鴨西本町 31-4 / 075-702-5501  
市バス 洛北高校前・月光堂楽器店より徒歩2分

要ご予約 入場料 2,500円(税込)



[お問い合わせ・お申し込み] 月光堂楽器店 075-781-1002

